

軍事極秘

第壹號

自昭和十九年八月十二日

至昭和十九年八月三十一日

# 陣中日誌

獨立速射砲第三大隊本部



陣中日誌用紙

八月廿一日

旭川



編成東野園也

一 本所住居者村高島飯助以下高上名旭川北野第三部隊、備時石  
集ニ依リ入隊ニ同且極速射死第三大隊、編入セリ  
二 北野第三部隊雪中運動場ニ方分面起居決ス  
三 本日勤勞莫尤ノ通リ

日直士長 伴 中尉

下士長 高柳 中尉

日課時限  
早更中時左記並々事項傳達(伴中事項尤ノ通リ)

起床及目醒奔 五三〇

朝食 六三〇

昼食 一三〇〇

會報 一四〇〇

夕食 一六〇〇

九月廿三日  
旭川

日夕更  
消燈  
又注意

保健二八相心ノ注意ヲ拂入全員出勤出来ル様望ム  
四本日現員將校四回習士官ニ下士官兵 五四名

一被服不合ノ交換ヲ實施セシム

二兵器受領交付ス

九九式小銃 三四  
三〇年製刺刀 四六  
九五式軍刀 六

右兵器支給セリ

三本日勤務員九ノ通リ

日直士官

福島中尉

下士官

井上兵長

四本日現員將校四回習士官ニ下士官兵五四名

陣中日誌用紙

九月廿四日  
旭川

一旗行糧秣及兵器衛生材料受領ス

二出勤準備ノ為ニ九ノ通リ實施ス

一兵器被服糧秣器材ノ梱包ヲ實施ス

二武器認票二番ヲ打ッ附ク交付ス

三本音勤務員九ノ通リ

日直士官

織田中尉

下士官

橋本兵長

四本日現員將校四回習士官ニ下士官兵 五四名

九月廿五日  
旭川

一本職大隊長着任ス

二梱包品一時ヲ止メ時ヲ至ルニ旭川驛軍用木ノ

二搬出セリ

荷物監視衛兵司令 井上兵長

以下十名

三、五時より北部隊第二部隊長、軍装検査員を  
本軍装検査員に北部隊第二部隊長、副系長、  
通し

訓示

一、嚴肅に軍紀を維持し、軍國心を團結し、結成  
一、保健、衛生、防謀、注意を促す  
四、八月十五日一時、独立速射砲第三大隊、  
編成業務を終了

五、五時より分屯記南七師団司令部甲第四号、  
受領

留七師団司令部第四号

一、独立速射砲第三大隊、八月十五日、  
戦車序列を編成

七号

二、独立速射砲第三大隊、八月十五日、  
輸送計画を呈

陣中日誌用紙

南西端島に到り、連雲港司令部、  
其、隸屬轉移時機、九州港灣、  
二、独立速射砲第三大隊、  
彈薬、作戦資材等受領、  
地(別示)に派遣す  
四、其他細部、指示す

留守第七師團長 岡崎 登

六、連雲港司令部第一號別紙、  
七、經理部、見習士官杉田賢三、  
八、本日、勤務員を、  
日向直士官、  
武田少尉、  
下士官、  
白井兵長、  
九、本日、現業將校、  
見習士官、  
下士官、  
兵五、  
四、

陸軍

輸送業務

八月廿日

旭川



一四野部隊改定準備多九龍者出發より

陸軍中尉 福島兵之祐

三計中曹 西村廣太

兵長 橋本正也

上等兵 青木力蔵

一未定對務員九通り

日直士官 高畑少尉

下曹 近藤兵長

一本日、現員特放 五員習士官三下曹兵五員

八月廿日

旭川



一左記通り輸送開始

五五九 第一梯團出發 小笠原中尉以下百七名

一〇二〇 第二梯團 田村中尉以下百四名

輸送業務

一六〇〇 第三梯團出發 左隊長以下一〇一名

計 三九二名

第一梯團九員本部二四〇名 指樞一計

北野第三部隊三名 途中護衛隊在 參拜武選長

久前 飯後 飯後 旭川 集令 一六三旭川

驛 了 出發

二乘車 先立 大隊長 左 到示 了 了

一嚴正 輸送 準備 確立

三防務 注意

車

一列車 部隊 進發 了 後 了 了 了 一 隊 任 地 向 前

進 了 用 大 時 給 元 一 大 隊 飲 火 了 了 了 了 了 了

了 了

一本日、列車 勤務員九通り

記

第一列車長

柏倉伍長

第二列車長

板垣軍曹

輸送途中九孔注意事項下達

一 防護、微塵

二 官給品、給食、水

三 地方人、教示

五 車両、現貨、特投、大下、官兵、四九名

八月九日



一 朝食、夜食、午前、午後、日五飯出、四午、青森  
二 朝食、夜食、午前、午後、一三、日青森、花那山  
三 向ヶ所、前、進、不、七、氣、極、メ、リ、延、重、ナリ  
四 車両、現貨、特投、大下、官兵、四九名

陣中日誌用紙

八月九日



一 郡山、朝食、夜食、午前、午後、一三、日青森、花那山  
二 朝食、夜食、午前、午後、一三、日青森、花那山  
三 向ヶ所、前、進、不、七、氣、極、メ、リ、延、重、ナリ  
四 車両、現貨、特投、大下、官兵、四九名

八月十日



一 京都、朝食、夜食、午前、午後、一三、日青森、花那山  
二 朝食、夜食、午前、午後、一三、日青森、花那山  
三 向ヶ所、前、進、不、七、氣、極、メ、リ、延、重、ナリ  
四 車両、現貨、特投、大下、官兵、四九名

1. 各ノ將校以下隊行兵各隊行時其隊ノ長ハ必ズ何所  
ニテ立陣ルヲ得ルル如ク能ク警覺スルヲ心ス  
2. 各列車毎ニ對テ監視哨員ニ名ヲ配置シ警覺  
任スルニシ

右ノ事ヲ本大隊トシテ凡ハ監視員ヲ  
配置ス



四一九四〇 注 警報解除

一六五〇 警報解除

五 本四 現 實 將 校 六 下 士 兵 兵 四 九 名

八月三日

一三四〇 列車進行中 注 警報解除令ナシ

陣中 警報解除

車



一〇〇〇 警報解除令ナシ

一〇四〇 警報解除令ナシ 下 團 購 三 到 着 同 日 各

二 下 團 車 頭 三 内 司 運 統 制 手 渡 統 一

四 内 司 兵 站 馬 車 場 手 自 一 六 三 〇 三 時 間 休 憩 久

休 憩 中 左 記 命 令 別 紙 下 達 ス

連 三 路 命 令 第 一 號

五 各 隊 八 夫 杉 田 主 計 現 習 士 官 一 指 示 二 三 〇

配 器 完 了 〇 〇

六 一 三 〇 九 記 命 令 別 紙 下 達 ス

連 三 路 命 令 第 三 號

七 右 命 令 二 基 一 六 〇 本 部 及 第 一 中 隊 車 手

頭 二 係 令 三 一 進 丸 二 乘 車 期 間 一 六 〇 〇 乘

車 終 了 〇

乘 車 人 員 九 〇 名

一進丸

八月三日  
博多港

一	本日博多港二停船
二	本日博多港積載糧秣、都合上食事を二回変更
三	本日現負將校六下士官兵五二名
四	其他第一中隊將校三下士官兵二六名
五	先発者 池田伍長以下四名
六	領下達又(別紙)
七	九〇〇輸送指揮官以下四名
八	先発者(第一中隊) 下士官兵四名
九	七〇〇出帆本日午後九時博多沖迄航行
十	上停泊

陸軍

陣中日誌用紙



一	氣圧七〇〇リ、船風微候了ん者甲板上海物及器具一部、第二船艙内運搬
二	四〇七四〇左記命令更領
三	四三九輸指令第四號別紙下達
四	連三三輸指令第五號、別紙下達
五	五本夜博多港二停泊
六	六第一中隊陸軍上等兵八名友去 左眼 <small>急修</small>
七	尖一 本部系原衛佐軍曹指揮、下宿
八	團第一陸軍病院入院
九	七本月勤務員九通り
十	白直士官 高橋 権 尉
十一	下士官 板垣 軍曹
十二	八本日現負本部先発者一
十三	將校六、下士官兵五六名



八月廿五日  
一進丸

一、八月廿五日博多港出帆  
二、船折極速天、衝多島傳三度見島港  
三、向行行入

二、航行中左記命令受領入

四、九輪指令第六號

三、本日勤務員九通入

日直將校

下士官

高柳軍曹

部隊衛兵等一中隊長以下九名

四、本日現員將校以下士官兵五十六名

五島沖

五、八月廿五日五島附近二停泊セリ

折極、低氣圧、夕、降雨、考慮、三、裝具及

身用品一部、第三船機、搬出ス

陣中日誌用紙

八月廿四日

一、天氣晴朗、三、波濤、急、急、急、大、大、揚、一、路、底、見

晴

島、向、少、校、鋪、入

五島沖

二、本日、勤務員九通入

日直士官

高柳軍曹

下士官

部隊衛兵司令、池田伍長以下九名

三、本日、現員將校以下士官兵五十六名

八月廿五日

一、八月廿五日、到着、停泊ス

二、当地、三、公用、多、杉田、整理、部、現習士官及西村

三、針、軍曹、底、見、島、港、上陸ス

三、本日、勤務員九通入

日直士官

高柳少尉

下士官

伍長



四本甲現與將校六 下書兵 五六名

八月三日

一本曰天候良好 三三灣上平島 將兵八名 檢査

八月三日

二上陸甲 少田與明吉 而村軍曹一名 船

三連三輪命 第六號 別紙 下達云

四本甲中船 內掃除及身用品 整備 且 檢査云

五本甲 勤務員 九通云

八月三日

一本曰天氣晴朗 一船團編組 一都合 上 檢査

陣中日誌用紙



一四時 周身用品 整理 及 兵器 員 檢査 查 檢査 云

二九記 命令 受領 云

三三九 輪指 命 第七 八 號 別 紙

四本甲 勤務員 九通云

曰直士 菅 古山 中村

下書 菅 曰 軍 曹

新機 衛兵 司令 小田 伍長 以下 九名

五本甲 現與 將校 六 下書 兵 五六名

八月三日



一本曰 底光島 海出 發 一 路 新 任 以 航 路 取 直

二一月 七 日 底 光 島 海 出 發 一 路 新 任 以 航 路 取 直

三航行 敵 水 艦 五 隻 及 敵 人 海 面 以 今 實 不 服

八月三日

四服 衣 者 裝 備 水 艦 一 隻 兒 一 合 乃 頃 注 云

八月三日

五盟 朝 廷 逐 之 云 云 云 云 云 云 云 云 云 云 云 云

軍

伴中尉

吉田軍曹

木口ノ現貨將校六ノ下士官五六名

日直士官  
下士官

八月十九日

高橋

一進凡係中何等敵、好意、更、下、上、無事、凡、  
改、已成、突破、他、輸送、能、手、有、腹、下、灰、三、路、那、  
一濃、厚、集、一、色、梁、り、特、朝、夕、景、快、之、油、繪、  
一、如、之、

二六〇〇左記命令更領人

四三九輪指命令第九號別紙

本口ノ勤勞員九通

日直士官

下士官

織田中尉

板垣軍曹

陣中日誌用紙

四一〇〇左記命令下達人

速三輪命令第七號

五本口現貨將校六下士官五五六名

八月三日

高橋

一〇〇〇一進凡及其他、船圖、天祐、言、那、霸、港、  
入港、  
船、船、都、合、上、者、港、入、港、儘、上、陸、命、令、待、  
之、船、船、司、之、部、命、令、明、至、日、上、時、上、陸、下、決、  
是、也、

二七〇〇左記命令更領人

四三九輪指命令第九號

速三輪命令第八號ノ下達人

一本口勤勞員九通

日直士官

高橋中尉

部下士官 大任 伍長  
部隊衛兵司令 高杉重吉以下九名  
五八〇〇石作命 第三三聯隊受領人

記

第六土師團命令

八月三日 八時

一 独立連射砲隊第三大隊八師團防衛担任地域ニ  
シテ明至日上陸ス

二 軍上前項部隊ヲ師團防衛担任地域ニ移  
予ノ指揮ニ入ラシムル

一 独立連射砲隊第三大隊八師團防衛担任地域ニ  
到着スルヲ如志(首里市東北四軒)ニ到着  
後、行動ヲ準備スルニシ

師團長 本郷 義夫

陣中日

六、本軍現員將校六、下士官兵五七名

八月三日 一、六時三十分 上陸準備多ク居所ニ整理看掃ヲ  
暗 絶待機ス

那覇港ニ六三〇大隊副官以下將校三、下士官二兵五  
計十名 設置及連絡ノ為先発上陸ス

那覇中ニ二、七時一進孔那覇港岸壁ニ到着シ二、三〇上  
陸完了ナリ



一 大隊副官、誘導ヲ行ハ宿營地甲辰校ニ部隊ハ  
一五〇〇到着副官ヲ注意 配器到着ナリ  
タル後活発ニ入り内自港出帆ナリ 七日自陸  
上ニ退カリ

五、自一四時ニ片岡入港セシム

一、同日旭川出帆以來初メ入港ニ至リ一日ノ願

陸

軍

送ノ疲レモテノ敵平甚ク時機来ルヲ待テノ

氣概ニ満テリ

六ノ四ノ九ノ九ノ命令下達ス

速ニ露命第一機

七ノ木ヨリ部隊皮事トシテ去古田舞曾長

トシテ兵九名ハ紐澤備一ノ九ノ一日食

睡テ眠ル

一七ノ九ノ九ノ命令下達ス

速ニ露命第一機

独立速射砲隊等ニ大隊命令

一ノ大隊八等六上師團長ノ指揮下ニ入リテ行カ

右(首尾ヲ東北北西行)ニ行テ爾後ノ行動ヲ準備

ヲ命ス

一ノ大隊八等六上師團長ノ指揮下ニ入リテ行カ

陣中日

一ノ大隊八等六上師團長ノ指揮下ニ入リテ行カ

四ノ余ノ甲辰團長澤波ニ在リ

大隊長 高橋 宣殿

下達命令書更領者ノ速ニ四達筆記セシム

九ノ木ノ勤務員九ノ通リ

日直士 高橋 准尉

下士官 板垣 軍曹

部隊衛兵司令 竹波 伍長以下九名

一ノ木ノ現員將校六 下士官兵五名

壁

陣

第二十二連輸令第一號

獨立速射砲第三大隊輸送命令

於八月二十二日(旭)。

一大隊留七師作命甲第四號留守第七師團命令ニ基キ新任地向ト前進ス  
トス。

二第三中隊長ハ第一次輸送指揮官トリ十七日。五五九ニ第三中隊長ハ第二次輸  
送指揮官トリ十七日。ニ。第三梯團ヲ指揮下ニ十七日一六三三ニ夫々旭川驛  
發列車ニヨリ別ニ示ス集結地ニ前進ス。

三梯團編制細部及材料並ニ梱包物輸送用ニハ副官ヲ指揮下ニス。

四福島中尉留七師作命甲第四號第三項ノ作戰資材受領ニ支那駐地ニ向  
テ十六日先發ス。

五本部及各中隊ノ作戰資材受領並ニ設營ノ多ク人員ヲ本十三日十八時福島中  
尉許ニ差出シ其指揮ヲ受ケルニ本部下士官一兵二名出陣ス。五時一六  
六杉田主計見習士官輸送当初携行食ニ于北三部隊ト連絡上準備ス。  
七予一七百一六三三第三梯團ヲ指揮シ前進ス。

輸送指揮官

高橋 大尉



独立連射砲第三大隊全營命令

八月三十一日 八三〇  
於司令部

一大隊八別令ノ此迄別員由ニ於ニ全營セントス

二支隊八別命ヲ此迄別ニ示ス宿營制ニ依リ宿營スベシ

三部隊自直將校(送察將校ヲ兼ス)次ノ通り服務スベシ

八月三十一日

第三中隊

瀧 城中 尉

八月三十一日

二中隊

武 田 尉

八月三十一日

一中隊

武 田 尉

四本部及各中隊毎ニ衛兵ヲ設ケ警戒ニ任スベシ 服装ハ背負囊ヲ除キ軍装ス

五宿營間自課時限ヲ通シ定ム

日朝兵呼

〇六〇〇

診 断

〇九〇〇 (井元旅館ニ開設ス)

会 報

〇九〇〇

諸勤務交代

一三〇〇

昼食

一三〇〇

日夕と矣呼

二〇〇〇

六 警言戒警言報発令マラ直ニ警言急集合所(老松公園前廣場)集合ス  
ベシ服装ハ衛兵ニ同シ

七 本宿營間、給與ハ舍主ノ供スルモノニヨル

八 予ハ清海社ニ在リ 十二時命令受領者ヲ出セ

舍營司令官

高橋大尉



一 大塚部山原ヨリ往々連射宛第ニ至大塚部長及大尉ノ  
 指揮ヲ入り糸籠地ニ開進セントス  
 二 七下旭月隊ヨリ先登ルル第一隊ニ據因ニ前進ス  
 三 指揮ヲ入り汽車輸送ニ依リ前進スハシ  
 四 糸籠地分甚然奥其ニ他部ヨリ司令部ヲシテ指揮ス  
 五 林ヨリ前ニ隊監視掛將前ニ隊務スハシ  
 五 予ハ後先頭列車ニ在リ

以上

輸送指揮官

高橋大尉

連三連輸命第二號

獨立速射砲第三十二大隊輸送命令

八月二十日十五時  
海軍省

左記

- 一 大隊(第三中隊又ハ本夕十七時一進九ニ乗船シ新任地ニ向ヒ前進ス
- 二 大隊(十六時迄ニ第二車頭ニ集合スベシ)
- 三 第二中隊長(第三中隊ヲ併セ指揮シ)司令部指示ヨリ後發スベシ
- 四 第二中隊長(大隊ノ火砲彈藥自働貨車貨物ノ輸送ニ任スベシ)
- 五 福島中尉(附部伍長)岡本軍曹(藤田兵長)火砲並ニ自働貨車受領後第二中隊長指揮ニ入ルベシ
- 六 第三中隊ヨリ下士官一兵一ノ先發者ヲ十六時第二車頭ニ在ル副官ノ下ニ差出スベシ
- 七 本夕食ヲ船内給與トス

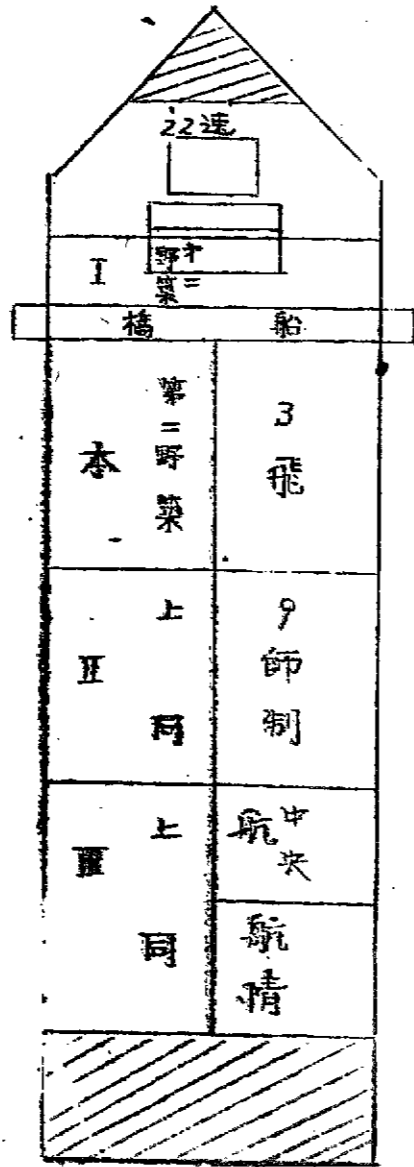
十六時第二車頭ニテ

輔政指揮官

高橋大尉

輸送指揮官

駒場少佐



請隊上甲板使用區分左如之定ム

輸送指揮官令  
左記

八月三十日  
駒場少佐

輸送指揮官命令第三號

左

船内内務規定概要

記

一 船内勤務員左ノ如シ

1. 警言備司令

大尉 一名

野 築

2. 日直將校

各独立隊毎 一名

3. 監視掛將校

將校野築 一名

直日直將校隊長以下五名

直日直將校隊長以下五名 日直二官各獨立

四 船内衛兵編制

下士官 一 上 一

喇 一 兵 六

計 九 名

速射砲第三大隊 編成 船内軍紀風紀維持 火災予防衛生

注意スベシ

五 對潛盜視哨第二野築大隊 差出スベシ

於 一進 加

前橋部  
中央部

野築第一中隊  
第二中隊

兵士六呼

三六八

服務ハ二十四時間トス

立哨要領及立哨位置眞警備司令指示ヲ受クシ

六對空監視哨 兵士官 七計八名第三三航空情報隊服務要領對空監視

哨ト同シ

七勤務服装 下士官以下 被甲鉄帽浮胴衣水筒雜累

八日課時限左ノ通り

日朝英呼

〇五三〇

會報

一〇〇〇

勤務交代

〇九〇〇

會報

一七〇〇

診斷

〇七三〇

日夕英呼

一三三〇

九船内動作

夜間一般起キ待機シ益向ニ醒マシトルコト尚警備関スル規定及非常  
時ニ際スル處置ニ関シテ警備司令指示受クシ

可~~早~~百警備司令

監視掛將校

頭書通リ命ズ

三島大尉  
上稔中尉

輸送指揮官

駒場少

佐上

左

記

船内警備規定

一 警備司令 輸送指揮官の命令を受け警備司令の船泊部並に船長と密接に連絡し船内警備を統轄スルに務む直接必要を認めタルときは警備兵及び衛兵ヲ指揮スルモノトス

二 警備司令 監視部隊ヲ指揮シ敵飛行機及潜水艦ヲ監視シ之ヲ発見スルヲ撲滅若シテ制圧ス 射撃開始警備司令の命令に依リ

三 對空對潜監視配置 船長ト協定シ警備司令之ヲ規定ス

四 應急準備 各部隊之ヲ計画シ實施シ遺憾ナクシテ應急準備要領に依リ

五 救命艇 救命艇は常に準備し必要時ハ即ち出帆ス

六 衛生 衛生設備は常に整備し必要時ハ即ち使用ス



左記

船内警備規定

一 警備司令輸送指揮官ノ命ヲ受テ警備員ニ船泊部隊並ニ船長ト密接ニ  
 連絡シ船内警備ヲ統轄スルヲ任務トシ直接ニ要下認メタルキ警備員及  
 衛兵ヲ指揮スルモノトス

二 警備司令並視部隊ヲ指揮シ敵飛行機及潜水艦ヲ監視シ之ヲ発見スル  
 ヲ撲滅若シハ制圧ス射撃開始警備司令命令メヨル

三 對空對潛監視配置船長ト協定シ警備司令之ヲ規定ス

四 應急準備各部隊之ヲ計画シ實施シ損傷ヲ防ズ

應急準備要領ハ左ノ如シ

救命筒及救命舟等ハ上ニ於テ必要ノ數ヲ備ヘ  
 必要ノ時ハ之ヲ用テ救助スルヲ要ス

又救命筒及救命舟等ハ船内各處ニ於テ必要ノ數ヲ備ヘ  
 必要ノ時ハ之ヲ用テ救助スルヲ要ス

三 海軍其他重要書類各部少長命ズル責任者於イキニ準備ス

四 船舶艦艇裝束様子外非常様子ヲ準備シ又救命竹筏ヲ準備ス

五 食飲料水救命具ヲ搭載準備ス

六 甲板進出順序

七 出口ニ近キ部隊ヨリ遂次進出ス

八 救命用ヨットス(救命胴衣)

九 救命用ヨットス(救命胴衣)飛込又網ヨリ降下ス

十 救命用ヨットス(救命胴衣)行方夜間ニ二分一ニ仮眠ヲ許ス

十一 救命用ヨットス(救命胴衣)眼鏡ヲ校付テ準備ス

十二 救命用ヨットス(救命胴衣)

十三 各部隊ヨリ直將校ハ瓦斯防護筒ヲ準備司令ニ連絡シ準備ヲ許ス

十四 救命用ヨットス(救命胴衣)

十五 救命用ヨットス(救命胴衣)輸送指揮官之命令、其他警報作要一四七及各状況

ヨリ余スルモットス

三 船中其他重要書類各部長命令責任者於船中保管

四 船舶機裝様子以外非常様子準備又救命竹筏準備

五 食飲料水救命具ラ搭載準備スベシ

六 甲板進出順序

七 出口近キ部隊ヨリ逐次進出ス

八 準備着マシモトス(救命胴衣)

九 艇内ニ網ヲ準備シ退船マシキハ飛込又網ヨリ降下ス

一〇 就寝情況ヨリモ通常夜間ニ行ク夜間ニ二分一ハ仮眠ヲ許ス

一一 出陣時及射撃部隊ノ服装應急準備服装トス(眼鏡、補給袋等)

一二 (モトメ) 携行ス

一三 各部隊ヨリ直將校、瓦斯防護筒シ警備司令ニ連絡シ準備ノ許ス限リ

一四 準備ヨリモトス

一五 遠征命令輸送指揮官ノ命令、其他警報ノ作要一四七及名状況

一六 準備ヨリモトス



各隊防火防水編成要員に在り如く準備し整備司令指揮に入ルベシ

ノ編成

兵下

2. 船内火災又漏水に発見シタルモハ附近より協力し防火防水ニ努ム

ト共ニ自置將校及整備司令に急報ス  
3. 防火隊(防水隊)ハ船長ノ要求ヨリ其業務ヲ援助ス

ノ方針

輸送中、對空對潛警戒本船輸送間断シテ不時ノ危害ヲ防ハス

以テ

連子運輸令第四節

獨立速射砲隊至大隊輸送命令

八月三日

一 大隊第一中隊(欠)砲場少佐指揮官令第一連九

新任地(向)前進也

一 船内整備規定別紙一連九前進指揮官命令案

三 船内整備規定別紙如シ

一 船内整備規定一連九輸送命令案第一別紙ノカ

一 船内整備規定及砲出整備規定ニ基キ本節ヨリ

船内整備兵士ヲ司令官一歩留置ル一兵六哨一

隊一哨中隊ヨリ行ハク水際要員トシテ下官以下

六五ヲ差込シ整備備員トシテ大尉指揮官ノ

五 高橋准尉部隊口直解校服着スル

六 予一連九ノ

部隊輸送指揮官 高橋 大尉

輸送命令第四號

左

記

八月三十日 多田港

一本船ハ新博多港於テ見習士官隊防衛築城隊乗船シ本職指揮スル

二右部隊乗船爲メ諸準備ヲ実施セントス

該隊乗船區分左如クスル

見習士官隊(ボート甲板)

防衛築城隊前甲板、及ニ三番船艙口

荷役開始

荷役ニ支障アル部隊ハ指揮官於ニボート甲板ニ退避ス(荷役中)

三速射砲隊現在使用セル甲板、左舷ヲ開放スベシ

四三番船艙及寢棚現在置キ各隊装具部隊毎取纏メ其下船艙

ニ入ルモノトス

五三速射砲大隊艙艦ニ使用セシム

現在前日初九日...

一中隊担任作業、細部水夫長(ホース)ニ連絡実施スベシ

三本準備作業、午前中ニ完了スベシ

四諸隊ハ船頭、少隊指揮官ニ於テ、田板ニテモ、船艙ニテモ、交代ニ適宜ニシ

宜ニシ

五現在此情況ニシテ、通路ヲ塞ギ、全員ノ行動ニ支障ヲ来スモ、浮腫水ニモ

下敷ニシテ、モ、タ、シ、白、直、於、テ、監、査、重、ニ、監、督、ス、ベ、シ

六予ハ船長室ニテリ

輸送指揮官

駒場少佐

四三九輪指令第五節

八月三十一日  
於一進丸

一左通諸勤務ヲ命令ス

月 日 警備司令

八月三十一日 樋口大尉

八月三十一日 武田大尉

八月三十一日 松島大尉

監視機隊校

北井中尉

岸本中尉

小野少尉

以上



獨進射擊第一火藥箱送命令  
八月三日  
於二進九火藥箱部

八月三日  
八月四日  
八月五日  
八月六日  
古上中中  
高橋在少中中  
新大田計計

編以衛兵  
八月三日以降左通し美山に居るセシムシ

八月三日  
八月四日  
八月五日  
八月六日  
第一中隊  
第一中隊  
第一中隊

担任  
予一進九在  
大隊長  
高橋大尉

本夜博多港に停泊す

以上

四三九輪指命第六節

八月三十日 一進六〇〇

一左道門

警備司令官 監視隊 將校

命令

不

八月五日

警備司令官 監視隊 將校

原中尉

八月六日

因 崎 大尉

松本中尉

八月七日

三 島 大尉

岩野中尉

八月八日

榎 口 大尉

竹内中尉

八月九日

武 田 大尉

高橋中尉

以上

獨立建射砲隊第... 隊前送命令

八月... 第一連丸...

一 本輸送船一進丸... 本洲日現在地... 停泊...

二 杉田主任見習士官... 西村主任... 車曹... 露宿用品受領...

一 泊二日... 定... 以上陸上...

三 八月... 日以降... 直將夜左... 通り服務ス...

八月... 廿七日... 古山中村

八月... 廿八日... 伴中村

八月... 廿九日... 高橋少計

八月... 廿九日... 伴中村

八月... 三十日... 高橋准尉

八月... 三十日... 伴中村

四 八月... 日以降... 砲兵... 差出シ服務ス...

八月... 廿九日... 第一中隊

八月... 三十日... 第一中隊

八月... 三十日... 第一中隊

五 八月... 一進丸... 在...

輸送指揮官

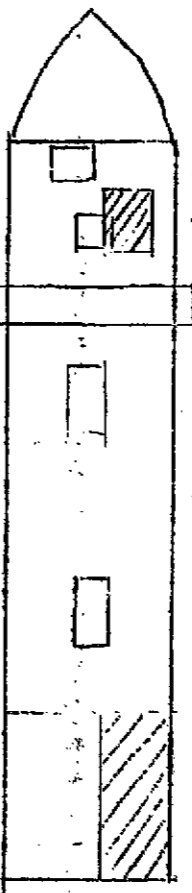
高橋太...

以...

四三九輪指令第七節

八月三日七日  
若底是島海

- 一 本船は展見島に於て人員より乗船せる名乗船七人の
- 二 折乘船部係乗船區分は左ノ如シ如シ  
 船前甲右後斜線位置に又防衛築城係使用甲右後右



- 三 第三項斜線場所、使用に於て係船員は使用放棄スヘシ
- 四 船内警備規程之別紙ヲ追加ス
- 一 四三九輪指令第七特別紙

特別注意  
 本船は魚雷一發を受ルニ及ばず一層ノ注意ヲ要ス  
 遭難時ニ於テ勦撃人員差生ニ已令左通り

任	職	行	備	計	備
消	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備
	火	前	前	計	備

火災場合半鐘乱打又本日底是島海  
 聖朝念火兵ノ予ノ身

四三九輸指令第一節

一月二十七日 二六〇〇  
在 廣見島

一 防衛築城隊及自習士官隊 浮洲衣 貸手 各一部隊配与  
朋衣中左記員数 第一野築隊本部 差出スベシ

左記

- 第一野築隊 八〇
- 九野 二〇
- 中央航空隊 一七
- 飛行隊 一七
- 第一野築隊 一〇
- 第二野築隊 一〇
- 第三野築隊 一〇
- 第四野築隊 一〇
- 第五野築隊 一〇
- 第六野築隊 一〇
- 第七野築隊 一〇
- 第八野築隊 一〇
- 第九野築隊 一〇
- 第十野築隊 一〇

二 防衛築城隊 及自習士官隊 浮洲衣 夫七貸手 各一部  
三 予夏頭者ノ野戦築城隊本部 差出スベシ

輸送指揮官

駒場

少佐

四三九輸指令第一節

一月二十七日 八〇〇  
在 鹿 見 島

一 防衛築城隊及奥習士官隊 浮洲衣笠寺、冬部隊配与  
册衣中左記員数ヲ第一野築城隊本部ニ差込スベシ

左記

第一野築城隊 八〇〇  
九野隊 二〇〇  
中央航空隊 一七  
飛行隊 一二  
等 三三  
二五連射大隊 四〇

二 防衛築城隊及奥習士官隊 浮洲衣ヲ夫ニ貸与スル  
ニツキ要領者ノ野戦築城隊本部ニ差込スベシ

輸送指揮官

駒場少佐

八二

四三丸橋指令 某丸荷

八月三十一日 九時

一本橋送船 天必ヨリ明三ノ日 郡而船港ニ入港ニ下ス

二一進凡乗船部隊 郡兵船ニ上陸セントス

三諸隊 左記順ニ上陸シテ

左記順ニ上陸セヨトシ  
一 第一隊 第一師團 第一旅団 第一連隊 第一中隊 第一小隊 第一班  
二 第二隊 第二師團 第二旅団 第二連隊 第二中隊 第二小隊 第二班  
三 第三隊 第三師團 第三旅団 第三連隊 第三中隊 第三小隊 第三班  
四 第四隊 第四師團 第四旅団 第四連隊 第四中隊 第四小隊 第四班  
五 第五隊 第五師團 第五旅団 第五連隊 第五中隊 第五小隊 第五班  
六 第六隊 第六師團 第六旅団 第六連隊 第六中隊 第六小隊 第六班  
七 第七隊 第七師團 第七旅団 第七連隊 第七中隊 第七小隊 第七班  
八 第八隊 第八師團 第八旅団 第八連隊 第八中隊 第八小隊 第八班  
九 第九隊 第九師團 第九旅団 第九連隊 第九中隊 第九小隊 第九班  
十 第十隊 第十師團 第十旅団 第十連隊 第十中隊 第十小隊 第十班

了上陸時期 第一師團 第一旅団 第一連隊 第一中隊 第一小隊 第一班  
二 第二師團 第二旅団 第二連隊 第二中隊 第二小隊 第二班  
三 第三師團 第三旅団 第三連隊 第三中隊 第三小隊 第三班  
四 第四師團 第四旅団 第四連隊 第四中隊 第四小隊 第四班  
五 第五師團 第五旅団 第五連隊 第五中隊 第五小隊 第五班  
六 第六師團 第六旅団 第六連隊 第六中隊 第六小隊 第六班  
七 第七師團 第七旅団 第七連隊 第七中隊 第七小隊 第七班  
八 第八師團 第八旅団 第八連隊 第八中隊 第八小隊 第八班  
九 第九師團 第九旅団 第九連隊 第九中隊 第九小隊 第九班  
十 第十師團 第十旅団 第十連隊 第十中隊 第十小隊 第十班

人負機

長瀬田大尉

下兵曹

時刻

上陸前一時拍

本艦

船以衛兵 引續き 軍兵

6名 隊員 舟中 浮舟 衣上 陸上 先立 野戦 築

城 隊 本 隊 運 納 ス

右... 左...

右... 左... 右... 左...

右... 左... 右... 左... 右... 左...

右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左...

右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左...

右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左...

前進指揮官

駒場少佐



社立遠射流等々大原前送命令

一 遠見 二 明三 日部 四 新造之入港 五 部 六 部

二 大原 (守) 三 多 一 儀 二 仍 三 新 築 四 新 築 五 上 六 能 七 元 八 是

三 本 部 七 日 車 八 日 車 九 日 車 十 日 車 十一 日 車 十二 日 車

四 船 以 衛 兵 六 撤 收 七 團 八 子 九 判 令 一 七 九 九

五 子 一 上 陸 二 則 船 橋 三 在 九 五 工 陸 後 橋 橋 二 一 一 一

滿漢指揮官 萬萬大村

達三上進船命第八節

獨立速財院第至大條輸送命令

八月三日

一 那霸船船輸送部係、部令ニテ、那霸港上陸ハ

明至日正時ニ変更スル

二 物田王計身習士官ニ權限受領、之ニ便給、之ニ上陸命令

三 獨速輸命令第七節、強勸勞、明至日正時ニ變更、勸勞等

日本夜、給與、船内給與、之明至日正時ニ變更、勸勞等、行上  
上陸スベシ

五 予、一進丸ニテ、明至日正時部係、先頭ニテ

大隊長

高橋大尉

獨立運脚規程

一 大隊 (第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

区	分	時	間	橋	要	已	分	時	間	橋	要
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

五 給與...  
 六 予...  
 以上

要司令管

高橋大尉